

日刊 勤労千葉

84. 2. 27

No. 1574

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）九三五〇六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

3.25決起の 主軸をになう

一番の底力で 2/23 幕張支部で職場集会

幕張支部は二月二三日春季闘争貫徹、3・25総決起のための職場集会を開催した。

集会は、本部から布施書記長を招き、七〇名の組合員が参加する中で差別昇給への怒りを燃やし、3・25三里塚五割結集、84春闘貫徹にむけて一人の例外者もなく総行動にたちあがることを確認した。

差別昇給に怒り燃やす！

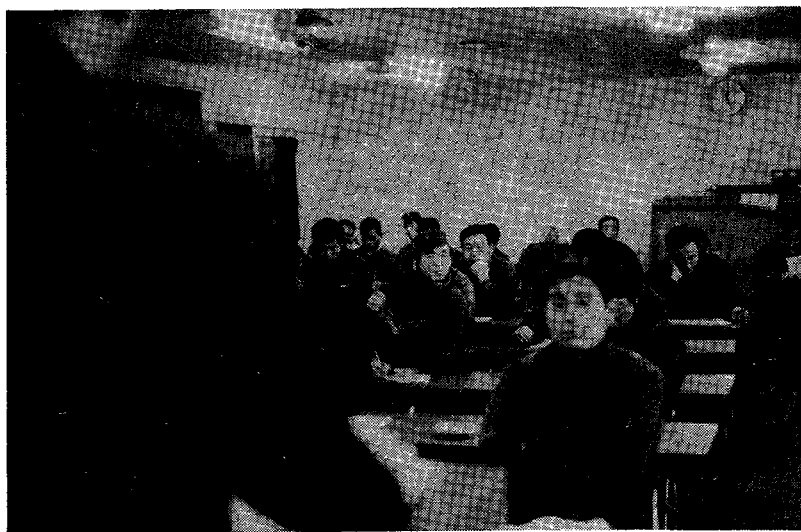
最初に白井支部長の挨拶をうけた。支部長は、「昨日発表された昇給には差別的な不当なものも含まれている。当局の攻撃をはねのけ、職場の力関係を守り強化するため、全組合員の団結と意識の向上が求められている。決めたことは実行する中からそれらをかちとってゆく」と強く訴えられた。

反動中曾根による行革―国鉄攻撃の吹き荒れる中で、権利や職場を守ることが中途半端な姿勢では不可能だ。「俺一人だけけても」というズッコケを許さず、厳しくせまることである。二三日集会参加者は怒りを即抗議に結びつけた。この怒りを3・25へ、労農連帯の拡大、強化で労働運動の危機を突破し、反動中曾根内閣をぶっ倒そうではないか。

幕張は検修職場の最先頭に立とう

多忙の中出席された本部・布施書記長は、熱烈にしかも全組合員への熱い思いをこめて「三月二五日はストライキと同じ考えで全員参加しよう。勤労千葉最大の支部としての誇りにかけ奮闘して下さい」と、切実に訴えられ、なかでも「勤労千葉結成から五周年に当り、五割動員の実現をもって団結力、組織力のすばらしさを当局や本部革マルに

支部通信員・発



日勤者を主力とする幕張支部は、3.25動員の主力を担う最大拠点だ。最大支部の誇りにかけ総決起を決意する組合員・役員は真剣だ。

見せつけ、思い知らせることが必要だ。目標は厳しいが真剣にとりくめばやれないはずは無い。3・25を春闘第一波と考え、力を尽してがんばろう」と重ねて訴えられた。

厳しく自らを律し闘おう

集会の最後に滝口書記長から行動提起をうけた。幕張支部の現在の団結と心の通った連帯感、みんな真剣に闘っている中から得ているものである。このことを教訓として、ここ一番底力を発揮せねばならない。基本はオルグ、オルグであり、加えて各分科、青年部は心一つにして立ちあがろう。そのとき道は開ける。以上の立場で全力を尽くすことが確認された。

風と炎の記録

不屈十八年の三里塚闘争

反対同盟の新作記録フィルム
(8mm・七五分・カラー)

突如としてふっつわいた「空港」の閣議決定。

怒りと不安のうずまく中、反対同盟が結成された。血と汗で拓き育てたこの農地をとられてたまるか！ 父ちゃ

んも母ちゃんも、ばあちゃんもじいちゃんも、泥だらけになつて機動隊の鬼どもと闘う。「先生！私たちと一緒に闘って」――バリエードの中から三里塚の子供たちが叫ぶ。

ブルの前に身体を投げ出し、土にもぐり、身体を立木に鎖でしぼりつけて闘う農民。炎に身をこがし、大楯で頭を割られてなお闘う学生、労働者。そして十八年、今、「農地死守・空

港絶対反対」の正義の旗をかかげる不屈・非妥協の反対同盟は条件・脱落派をふみくだいて意気高く二期決戦勝利へと前進する。

何と明るい、すばらしい顔だ。三里塚闘争とは何なのだろう。このふるえるような怒り、力、感動は、どこからくるのか。

反対同盟の農民自身が、闘いの渦中で自ら撮りつづけた感動の記録。

3.25総決起のために職場地域で利用を

フィルム貸出の申し込みは教宣部まで